



レインボーラインの山頂公園から水月湖（手前）、菅湖（左奥）、三方湖（右奥）を望む

山梨が初任地だったこともあり、富士五湖には何度も出かけたが、こちらの五湖は知らずにいた。知人に教えられて地図を開くと、富士山のふもと、五湖とは対照的に、海のそば。しかも東西、南北ともに5〜6kmの狭い地域に湖が集まっている。複雑な地形が織りなす景観と、湖や海の幸を旨みに、若狭路に向かった。オバマ米大統領誕生で注目を集めた小浜市へ至るJR小浜線を三方駅で下車。タクシーで有料道路「レインボーライン」に入ると、

運転手さんの案内に思わず耳を疑う。山道を上りながら「左が日本海。右が湖」と教えられたかと思うと、次は反対。前にも後ろにも湖が出没する。これじゃあ、三方どころか四方が湖じゃないか。湖、海、山が入り組んだ地形に方向感覚を失った。湖によって塩分濃度が異なり、夕暮れ時は湖面が色とりどりに輝くという説明にうなずくうちに到着したのは、レインボーラインの中程にある梅丈岳（標高



「恋人の聖地」として名高い山頂公園には永遠の愛を誓う鍵がズラリ

旅

多彩な水面 魚介の宝庫

三方五湖 (福井)

395坪)。ケーブルカーに乗ると、見晴らしの良い山頂公園に出た。あいにくの曇り空だが、五つの湖が眼下に広がるパノラマは雄大そのものだ。公園は「恋人の聖地」としても名高い。二人でロックすれば永遠の愛が成就するという「誓いの鍵」が至る所にかけるられている。訪れたのは、ちょうど土用の丑の日。京都から彼氏と一緒に名物のウナギを食べに来た加茂直美さん(38)は、「次に来た時、分かれへんから」と、目印の5円玉の穴に通して鍵をかけた。ご縁も、さぞ深いことだろう。恋には長らく縁のない記者は山を下り、水月湖畔の温泉宿へ。全室オーシャンビューならぬレイクビュー。雨が降り出し、期待した夕暮れは見られなかったが、霧にけがれる湖も風情たっぷりだ。夕食はスズキの天ぷら、翌日の朝食はシジミのみそ汁と、湖で取れた食材が舌を楽ませてくれた。



サバ、イワシ、フグなどのぬか漬けが並び、観光客でにぎわう「美浜へしこ館」

へしこは若狭名物の魚のぬか漬け。強く圧迫するという意味の「へし」と「ご(雑魚)」が一緒になった言葉だという。サバ、イワシ、フグ……と並ぶ中から、サバのへしこ入りのお握りを買ひ、帰り道にほお張る。塩辛さと、ほのかな甘みが口いっぱい広がった。(多葉田聡、写真も)



●あし JR東京駅から新幹線、北陸線 を乗り継ぎ、敦賀駅まで約3時間。敦賀駅からJR小浜線で三方駅まで約30分。
●問い合わせ 若狭三方五湖観光協会 0770・45・0113。